

ほほえみだより

吉田保育所 平成25年10月

うんどうかい お疲れ様でした！ご協力ありがとうございました。



運動会はいかがでしたか？
大勢子どもがいても自分の子
を見分けることができるのは、
顔や姿が違うから！同じよう
に、発育・発達のもも能力も
みんな違います。その違いを認
めてほめてあげましょう！！
みんな違ってあけましょう！！



9月5日、さくら組さんは真砂の
“かもかもたんぼ”で稲刈りをしま
した。
カマを持つのはみんな初めてで
すが、結構上手に刈れましたよ。
田の所有者は澄川正雄さんです。
この田で収穫したお米を含め、澄川
さんは給食用のお米や野菜をつく
って下さっています。



9月10日、さくら組さんは原浜
保育所の年長児と一緒に小野保育所
へ行き、三園合同で海遊びを楽し
みました。
スナガニの穴を掘って蟹を追い
かけたり、波打ち際で遊んだり、写真
の温泉プールに飛び込んだり…。
とっても楽しい海遊びでした。



9月24日、“さくらドーム”で運
動会予行練習を行いました。
現地まではマイクロバスのピスト
ン輸送で、つくし組以外全員が参加。
ちょっとお出かけ気分の練習です
が、みんな元気いっぱい！本番さな
がら真剣に取り組みましたよ。



つくし組は現在12名。それぞれの
ペースで順調に成長、遊びや運動
がどんどん活発になっています。
今年度か始めた月1回の「0才児
サロン」も好評で、在宅育児や育児
休業中のママや
パパが、お子
さんと一緒に遊び
に来てくれてい
ます。



『ほほえみだより』『給食便り』はホームページでもご覧いただけます。 <http://hohoemi-yoshida.com/>

吉田保育所 検索

10月の予定表

- 1日(火) 音楽で遊ぼう！(さくら組・すみれ組)
- 3日(木) 誕生会
- 4日(金) 音楽で遊ぼう！(ゆり組・もも組2才児)
- 6日(日) グラントワ「きんさいデー」オープニングに
さくら組・すみれ組が出演(10:00~10:30)
- 8日(火) しまね自然と環境財団主催の「エコバッグつくり」
に取り組みます(さくら組)
- 10日(木) 身体測定
- 11日(金) 原浜保育所との交流保育(さくら組)
…りんご狩りに行きます
- 12日(土) 保護者会主催行事「船方牧場へ行こう！」
- 15日(火) すざのこ劇団の人形劇観劇(会場：グラントワ)
- 16日(水) 翔陽高校「地域とのふれあい事業(さつま芋の収穫)」
に参加(さくら組)
- 19日(土) 避難訓練
- 25日(金) 大相撲益田場所練習風景見学、健康診断

「個人懇談」と「保育体験&給食試食」を実施しています。

月	個人懇談	保育体験&給食試食
10月	つくし組	
11月		つくし組



つくし組以外で「保育体験&試食」未実施の方にも申込書を配布します。
ご都合のよい日を選んでご参加下さい。



10月生まれのおともだち

5日	大庭 めい さん	6才
9日	堀本 しょうた さん	2才
15日	戎野 そうすけ さん	3才
18日	福原 あまね さん	4才
19日	江野本 ひな さん	5才
20日	花房 たくみ さん	6才
22日	桑原 ゆづき さん	6才
26日	河上 しょうた さん	3才

大きくなったね！



さつま芋、里芋、栗、どんぐり、しいのみ、むかご！
色とりどりの紅葉に澄んだ空！
素敵なこといっぱいの十月に生まれた子どもたち
お誕生日おめでとう♡

保育所へのご意見・ご要望・苦情がありましたら、
遠慮なくお申し出下さい。

1. 申出の方法

- ①口頭で、言いやすい職員に、気軽にお伝えください。
- ②連絡帳で、素直なお気持ちをお伝えください。
- ③意見箱に、手紙を入れて下さい。(匿名でもかまいません)
- ④苦情受付担当者に、遠慮なくお伝えください。

苦情受付担当者	主任 花房 紀子
---------	----------

⑤職員に言いづらい場合には、第三者委員にお伝えください。

第三者委員	山尾 優美 (人権擁護委員)	あけぼの東町 4-2
	羽柴 克郎 (司法書士)	水分町 2-8 羽柴克郎司法書士事務所
	羽柴 貴宏 (弁護士)	益田市乙吉町イ 342-1-209 羽柴法律事務所

⑥保育所に言いづらい場合には、島根県運営適正化委員会
(0852-32-5913)にお申し出ください。

※この他の詳しい説明や第三者委員の連絡先電話番号は、
保育所入口に掲示しております。ご確認ください。

※意見箱は事務室側玄関に設置しています。ご利用下さい。

不満や疑問を胸の中にためていると辛さが増していきます。些細な
ことでも、身勝手かな～と思うことでも、遠慮なくお伝えください。
たとえ個人的な問題でも保護者様と一緒に考えたいと思っています。
守秘義務は厳守いたしますので、どうぞ安心してご相談ください。

子どもはみんなよく転びます。そして、ころんだら泣き、思い通りに
ならなくて泣き、子どもはよく泣くものです。

●子どもが転んだら(歩いたり走ったりできる年齢の子どもです)
できる限り子ども自身で立ち上がるよう、親は辛抱強く待ちましょ
う。つい手を出したくなりますが、子ども自身に立ち上がる力のある
ことを信じましょう。
そして、自分で立ち上がったら、「えらいね！」「強いね」としっかり
ほめて、抱きしめてあげてください。

●思い通りにならなくて泣くときは(会話ができる年齢の子どもです)
説明をしても納得いかなくて泣き続けるのはよくあることです。そん
なときは、できる限り泣きたいだけ泣かせてあげて、自分で泣き止む
まで辛抱強く待ちましょう。つつい必要以上に叱ったりなだめたり
することが多いものですが、泣いて気持ちをスッキリさせて、自分で
泣き止むという経験を積み重ねることが大切です。間違ってもお菓子
やおもちゃで釣らないように！
そして、自分で泣き止んだら、「よく我慢したね！」「ちゃんと泣き止
んだね」とほめて、抱きしめてあげてください。

転んだとき、泣いた時は、自分で立ち上がる体験、自分で泣き止む体験
をする貴重な時。この積み重ねが自力で立ち直るイメージをつくります。
将来、様々な困難にぶつかったときに役立つ大切な力となりますよ。